

## 読み切り小説 特別企画の第19回!! 『クリスマスなんて...』

今年もあと1ヶ月...街はもうクリスマス気分で浮かれ始めてる。僕たちの施設でもクリスマスツリーの飾り付けが始まった。みんなとっても楽しそう...だけどほんとはクリスマスなんて...「**良太ってこの時期、って言うかクリスマス絡みの時ってたまーに寂しそうな顔するよね。なんで?**」入居者さんと一緒にワイワイとツリーを飾り付けてた同僚のミクが聞いてくる。「**あのさぁ、クリスマスって無条件にウキウキ楽しい感じがするもんじゃない?ねえねえ?**」  
「**実はさぁ...**」

小学生の頃、僕の街にはとても優しいおばあちゃんが居た。駄菓子屋さんをやってたんだけど、お店に立ち続けるのが辛くなって来て店を閉めちゃった後でも僕たちはおばあちゃんの家に毎日のように遊びに行ってた。ボクの家はおじちゃんもおばあちゃんもいなくて、両親も共働きだったから、学校帰りにおばあちゃんちでゲームやったりおやつを食べながら学校であったことを話したりして、おばあちゃんはそんな僕らをニコニコと見守ってくれてた。

おばあちゃんには離れた所に住んでる娘さんがいて、いつも心配して電話がかかって来るって言ってた。

ちょうど今ぐらいの時期に僕たちはおばあちゃんに、クリスマスパーティがやりたい!! ってお願ひした。おばあちゃんは笑って「**プレゼントは用意できないけど良いのかい?**」って聞くから「**大丈夫だよ、僕たちのプレゼントは夜にサンタさんがくれるから、パーティではみんなで持ち寄ったものの交換会をしよう!!**」ってことになった。

僕たちは本当に楽しみにしてたんだ。クラスの芽衣ちゃんが「家でクリスマスパーティするから絶対来てね」ってみんなを誘うまでは...

なかなかおばあちゃんに言い出せないままクリスマスイブになったけど、僕たちは楽天的だった。芽衣ちゃんちのパーティが終わった後に、おばあちゃんちに行けばいいやって、みんな思ってた。でも珍しくおばあちゃんが「**クリスマスはちゃんと5時に帰ってお父さん、お母さんと一緒に過ごすんだよ**」って言ってたのがちょっと気になってた。

パーティ当日、僕たち子供は本当にバカで残酷だった...芽衣ちゃんちのパーティはとんでもなく楽しかった。あんなに楽しみにしてたおばあちゃんちを忘れちゃうくらいに...気がついたらもう時計は五時半になっていた。僕たちは夢中でおばあちゃんの家に向った。走りながら凄く申し訳ない気持ちでいっぱいになっていた。みんなも一緒だったみたいで、どの顔も泣き出しそうだった...

おばあちゃんちに着くと見たことのないおばさんが僕たちを待っていた。おばさんはおばあちゃんの娘さんで、おばあちゃんはどこかの施設に入ることになってて、本当はもっと早くに行くように言ってたんだけどクリスマスまで待ってほしいって娘さんをお願いしてたって教えてくれた。おばあちゃんは施設に行っちゃった後だった...僕たちに喜んでもらおうと作った、たくさんの料理もケーキもプレゼントも手つかずのままだった...最初は少し怒ってたおばさんも僕たちが一斉に泣き出して怒れなくなっちゃったみたいだった。おばあちゃんも怒らないでやって、と言ってきてたみたい。僕は家に帰ってから両親が心配するくらい泣き続けた。

その後おばあちゃんには合うこと無く僕は大人になった。

「だからさぁ、ここに来るおじいちゃんやおばあちゃんがそんな悲しさを抱えてたら...忘れて元気になってくれたらなって...でもクリスマスだけはどうしてもね..」**「大丈夫!良太は良くやってるよ。さ、頑張って仕上げちゃお」**

今年もクリスマスがやってくる...

おわり

## Yugawara Walker 湯河原ってこんなところ

### “麵家おとみち” 編

今回は名店街にあります今春オープンした「麵家 おとみち」さんを紹介します。ご主人は地元出身ですが東京でラーメン店を営んでからのいわば凱旋帰国です。東京では「中華そば」(醤油)が人気だったそうですが湯河原では「塩そば」が好評との事。では早速「チャーシュー塩そば」を頂きます。



わお! 見た目が最高! チャーシューの花が咲いています。スープを一口。う〜ん、とっても上品でこのままスープをスプーンとして飲み干してもいい位まるやかで深みを感じる味わいです。「塩そば」は与論島沖産のミネラル豊富な自然塩がブレンドされておりお肌にも優しいラーメンです。 麵は細麺シコシコでスープとの相性がバッチリ、そしてチャーシューを口の中へ! 見た目からも期待していましたがこのチャーシュー絶品です! ご主人独自のブレンドで炊いてあるそうですがその出汁の味がよく染み込んでいるけれども肉自体の味も感じる事ができるチャーシューです。あっという間に「チャーシュー塩そば」完食となりました。 他にも前述の「中華そば」(醤油)や焦がしネギの香り豊かな「マラーメン」、そして、なんと麵にタピオカが練りこんである「つけめん」。こちらは中太麺でモチモチの食感が最高です。そして、このチャーシューが使われている「炙りチャーシュー丼」。チャーシューのあの味とタレが染み込んでいる御飯。言うこと無しです! 「炙りチャーシュー丼」だけで来店する価値あります。トッピングが全て入っている「おとみちスペシャルラーメン」や子供向けの「わんぱくラーメン」や写真の「おつまみセット」などなどまだまだメニューはありますが紙面の都合上ここまでです。お座敷もあり大人から子供まで幅広く利用できます。ぜひ皆様足を運んで下さい!

### “麵家 おとみち”

Phone⇒090-6506-7970  
住所⇒湯河原町土肥5-1-16  
営業時間⇒11:00〜15:00・17:00〜20:00  
木曜定休 ※スープがなくなり次第終了  
専用駐車場6台分有り(お店の方に聞いてね)

### 次号の予告

- ・「新年あけましておめでとうございます」特集号
  - ・今年のクリスマスはどんなだったかな? etc.
- で2018年1月にお届けっ!!

### ホッポのように(編集後記): 第50回!!

少しずつ冬に向かっていく季節の変わり目を毎日感じています。夏には夏の冬には冬の楽しみがありますね。今年も湯河原は雪が降るのでしょうか? 体調管理をしっかりと冬に備えます! 次回は冬真っ只中の1月にお届けします。



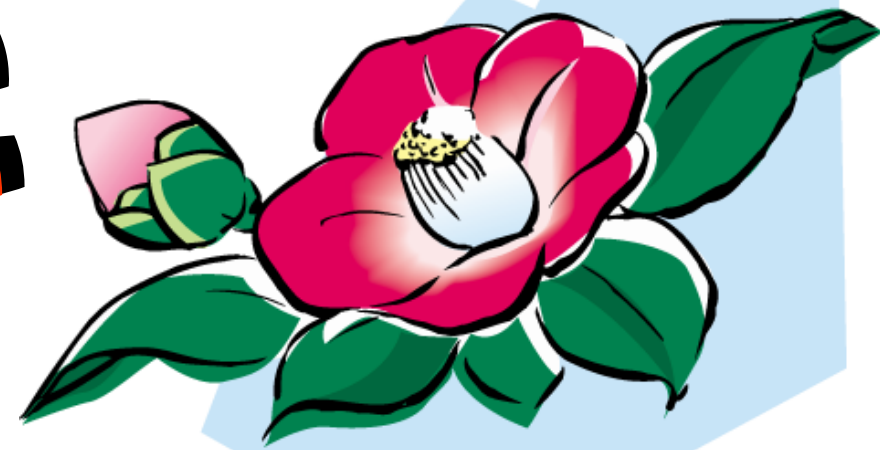
発行責任者: ニューライフ湯河原施設長・小田隆男  
編集責任者: 三科敏隆 編集: ニューライフ湯河原広報委員会  
発行日: 2017.10.05  
発行人: ニューライフ湯河原湯河原町吉浜1906 phone:0465-60-1555

## 介護老人保健施設ニューライフ湯河原 presents



# 2017.秋麗!! 竜田姫!!号

# つばき



だいふ秋めいてきましたね、って言うか夏はあったのでしょうか? なんて思っているうちに秋になってしまいました。みなさまいかがお過ごしですか? 前回のつばきから、また一段とアジアの情勢が不安定になってきました。気象の方も8月中にほとんど太陽が見られない異常さだし、その上いきなり感の否めない衆議院の解散総選挙...またまた権力にご執心の大人が右往左往する様を見せられるのかと思うと...いろんなもののファーストの皆さんの本質をしっかりと見極めたいと思います。

私たち「つばき」はブレることなく、これからもご利用者ファーストで頑張ります!!

今回のイベント報告は雨.あめ.アメ.の特別編でお送りします。ご賞味あれ(^o^)



## 第36回... “時事(じいじ?)コラム” ～平成30年度介護報酬・診療報酬同時改定に向けて～

平成29年6月2日、介護保険法第8条第28項の介護老人保健施設の定義が改正され、平成30年4月1日に施行されます。その定義に基づき、来年、平成30年度の介護報酬・診療報酬同時改定において、どのような評価が出されるのか、これからの関心事に違いないだろう。まずは、その定義をご紹介します。介護老人保健施設とは、要介護者であって、主としてその心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むことができるようにするための支援が必要である者に対し、施設計画サービスに基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とする施設。つまりは、「在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点となる施設であり、リハビリテーションを提供し機能維持・改善の役割を担う施設」ということを明確化されます。(雑誌老健から)そこで、次期介護報酬改定のポイントは？と聞かれたならば、この定義に基づいた評価がポイントになるでしょう。

- 1、在宅強化型、在宅復帰・在宅療養支援加算型と従来型との報酬体系格差
- 2、リハビリテーションマネジメントの重要性と個別リハ
- 3、通所リハビリテーションと通所介護の役割分担と機能強化
- 4、医療の維持期のリハビリテーションの見直しの観点から、介護保険へのスムーズな移行
- 5、ケアの質の評価のポイントの置き方
- 6、認知症へのより高度な対応
- 7、その他、看取り機能や訪問リハビリテーションの実施

また、最近、インセンティブといった言葉が目につきます。「人の意欲を引き出すために、外部から与える刺激」と訳せますが、つまりは餌を蒔いて効果を上げ、効果が得られなかったらペナルティーだということ。この考え方は次年度以降の保険者に適用されますが、介護事業者においても導入が検討されています。(アウトカム評価、成果報酬)

ある雑誌を読んでいたら、平成30年度の改定はプラス改定？といった文字が目に入ってきた。その根拠といえば、平成27年度の改定が平均2.27%のマイナス改定であったこと、また所得による2割負担など給付抑制が行われたこと、ましてや介護事業者の経営悪化が浮き彫りになったことを危惧しているのかもしれませんが、老健施設においてはプラマイゼロの帳尻合わせを行なってくるのではないかと考えています。期待はしていません。

また、ケアの質を充実せよと言った所で、背景に介護人材不足の問題もあって、なかなかかみ合っていないのも現実です。新しく介護医療院(日常的な医学的管理が必要な重介護者の受入れや看取り・ターミナルケア等の機能と生活施設としての機能を兼ね備えた医療療養・介護療養型施設が移行)が創設され、6年後の2024年には介護保険3施設の機能別施設整備が整うと示されたわけで、その序章として平成30年介護報酬・診療報酬の同時改定に対応しなければならないと考える次第です。文責：松岡秀典

## なんか「夏のお楽しみ会」がまた変わったことはじめたってよ

7月22日土曜日に、ニューライフ湯河原では毎年恒例となっている「夏のお楽しみ会」が開催されました。今年度は例年行っている打ち上げ花火に加え、納涼のど自慢大会が実施されました。

選抜された8人のご利用者に夏の暑さを吹き飛ばす素晴らしい歌声を披露して頂きました。職員からも2人の歌姫が参戦し、それぞれオープニングとエンディングを飾ってもらいました。仕事の時とは一味も二味も違う職員の熱唱姿に会場は大興奮でした。



会の後半を彩った打ち上げ花火では、普段間近で見える事の出来ない光景に皆さん目が釘付けです。大盛況を博した会の様子に、司会を担当した自称金髪美女ことキャサリン♂(2代目)も感激です。また、今年度の模擬店では飲食物の販売に加え、ヨーヨー釣りが初お目見え！昔懐かしい出店の登場に、皆さん童心に帰られて楽しまれていました。

早くも来年の夏が待ち遠しくなる「夏のお楽しみ会」でした。 H.29夏のお楽しみ会:矢部翔平

## 夏はやっぱりこれでしょ! 「雨のやっさに参戦だ!!」



それでも参加職員たちはいつも以上の「やっさやっさー!」の大きなかけ声とともに最後まで無事に踊りきりました。翌日何人の職員が発熱するか心配でしたが体調不良者もゼロ!今日もこの元気でご利用者のケアに励んでいます!沿道よりたくさんのご声援ありがとうございました。 文責：熊谷未央

8月2日は湯河原町の一大イベント「やっさ祭」でした。やっさパレード参加も今年でついに24回目の出場となり、何度も踊りに出ているベテラン職員たちが気合い十分で参加準備!!

が...まさかの雨。雨なんか勢いで吹き飛ばしてやる!! ...そんな意気込みも、踊りだす頃にはまさかの土砂降り。いつもはなんなく踊りきる1.2kmもながーくながーく感じました。途中、寒すぎて心折れそうになり、雨でビショビショの法被が重くてしんどくなり、髪から水がしたたって前が見づらくなり...



## 台風になんて負けられない!! 「敬老会25th」開催??

平成29年9月17日(日)、ニューライフ湯河原開設25周年記念敬老会を台風18号が近づいている中、例年より規模を縮小して開催しました。当初の予定では、式典には湯河原町長、神奈川県議会議員他来賓の方々をお招きし、祝辞をいただく予定にしておりました。さらに屋外では真鶴中学校のブラスバンド部、社交ダンスのボランティアの方など催し物も予定しておりましたが、台風18号の影響を考え、開催2日前に規模縮小という決断をいたしました。また、ご家族の方やお手伝いをしていただくボランティアの方々には、天候を考慮して来所をご遠慮していただくなど、毎年楽しみにしていた皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと、紙面をお借りしてお詫びいたします。



屋内での催しのみではありましたが、ピアノとサックスの演奏や防災をテーマにしたコメディ、ハンドベルの演奏など、充実したひと時を過ごすことができたとうれしい声に救われました。25年間の施設運営の中で、初めてのことでありますが、大変貴重な経験ができたと思えました。



最後に、この敬老会に協賛していただきました方々に感謝申し上げます。 事務長 松岡秀典  
協賛 (株)キリンビバレッジ足柄営業所様 青木肉店様 八百尚商店様 (株)ユニチャーム様 レディ美容室様

## いまでもお世話になりました “去る皆さんおつかれさまでした!!”

療養課(介護)：久田里美 ・ 療養課(看護)：高橋由美 ・ 療養課(看護)：山田玲子 ・ 療養課(看護)：佐藤はるみ

在職中は皆さんに優しくカバーしてもらい声も掛けてもらい有り難うございました。とても助かりました。老健とは病院とは違い医療より介護中心で回るためもっとゆっくりとした時間をご利用者含め過ごしていると思いました。しかし、現状はマンパワー不足もあるかとは思いますが想像とはかけ離れていました。そんな中ご利用者の事を一生懸命に考え、向上心のある介護さん達が大勢いてビックリしました。そのような姿を見て感動しつつ自分なりに老健ではこうありたい・安らぎ落ち着ける老後のお手伝いが出来ればと思って頑張ってきましたが、私の技量では残念ながら難しかったです。

認知症の方でもターミナルであってもご利用者の人生のお手伝いがいつかまた出来ればと今は思っています。

短い間でしたが有り難うございました。

退職者代表：佐藤はるみ